

Acer プロジェクタ

X1130/X1230/X1230S シリーズ  
ユーザーズガイド

Copyright © 2009. Acer Incorporated.  
版權所有。

Acer プロジェクタ X1130/X1230/X1230S シリーズユーザーズガイド  
元の問題：01/2009

このマニュアルの著作権は、Acer Inc. にあります。Acer Inc. に対する文書による許諾なしに、電子的、機械的、光学的、手書き、その他の手段により本書の内容を複写、伝送、転写、検索可能な形で保存、他言語への翻訳、コンピュータ言語へ変換することを禁止します。

ご注意

本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。

本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。

本製品を運用した結果の影響については、上記2項にかかわらず責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品のご購入時に決められた条件以外での製品およびソフトウェアの複製を行うことは禁じられています。

Acer プロジェクタ X1130/X1230/X1230S シリーズ

モデル番号： \_\_\_\_\_

シリアル番号： \_\_\_\_\_

購入日： \_\_\_\_\_

購入場所： \_\_\_\_\_

Acer および Acer logo は Acer Incorporated の登録商標です。その他の会社の製品名または商標は、本書では識別目的のために使用されており、それぞれの会社に帰属しています。

「HDMI™、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。」

# 安全で快適にご使用いただくための 注意事項

この操作説明書をよくお読みください。本書を保管して、必要に応じて参照してください。説明書に明記された、全ての警告と指示に従ってください。

## クリーニングする前に製品の電源をオフにしてください

クリーニングする前に、コンセントから本製品のプラグを抜いてください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーを使用しないでください。クリーニングには、固く絞った布を使用してください。

## 電源プラグを抜き差しする際の注意事項

外部電源装置に対する電源の接続と取り外しに際しては、次のガイドラインを守ってください。

- 電源装置を取り付けてから、電源コードを AC コンセントに接続してください。
- プロジェクタは、電源コードを抜いた後で電源装置から取り外してください。
- システムに複数の電源が取り付けられている場合、電源装置から電源コードをすべて抜いてシステムから電源を取り外します。

## 電源供給場所の確認

本機器をご使用になる前に、電源コンセントが、使用場所の近くにあることを確認してください。本機器から電源コードを取り外す際には、必ず先にコンセントから電源プラグを抜いてください。



### 警告

- 本製品を水気のあるところで使用しないでください。
- 本製品を不安定なカート、スタンドまたはテーブルの上に置かないでください。製品が落ちて、破損する恐れがあります。
- スロットや開口部は換気のために設けられ、本機器が安全で、安定した操作を行うために、過熱から保護しています。これらの開口部を塞いだり、カバーを掛けたりしないでください。製品をベッド、ソファ、ラグまたはその他の類似品の側に置いて、開口部を塞がないようにしてください。

本製品をラジエータやヒートレジスタの傍または上に置いたり、適切な換気が提供されないはめ込み式家具などに取り付けたりしないでください。

- いかなる種類の物体もキャビネットのスロットを通して本製品内部に押し込まないでください。危険な電圧ポイントやショートする部品に触れて、火災や感電の原因となります。製品の上または内部には、いかなる種類の液体もこぼさないでください。

- 内部コンポーネントが損傷したりバッテリーの液漏れの原因となるため、製品を振動する面に設置しないでください。
- スポーツや運動が行われていたり、または振動のある環境下で本製品を使用しないでください。回転装置やランプが予期せずショートしたり、損傷する原因となります。

## 電力を使用する

- 本製品は、マーキングラベルに示されたタイプの電源から操作する必要があります。使用可能な電源のタイプが分からない場合、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。コードが踏まれる可能性のある場所に本製品を設置しないでください。
- 本製品に延長コードを使用する場合、延長コードに差し込まれた装置の合計アンペア定格が延長コードのアンペア定格を超えないようにしてください。また、コンセントに差し込まれたすべての製品の合計定格がヒューズ定格を超えないようにしてください。
- コンセント、テーブルタップまたはレセプタクルに多くのデバイスを差し込んで過負荷を掛けないようにしてください。システム全体の負荷は、分岐回路の負荷の 80% を超えてはいけません。テーブルタップを使用する場合、負荷はテーブルタップの入力定格の 80% を超えないようにする必要があります。
- 本製品の AC アダプタには、3 叉のアース用プラグが付属しています。プラグはアースされたコンセントにだけ適合します。AC アダプタのプラグを差し込む前に、コンセントが正しくアースされていることを確認してください。プラグをアースされていないコンセントに差し込まないでください。詳細については、電気技師にお問い合わせください。



警告：アース用ピンは安全のために用意されています。正しくアースされていないコンセントを使用すると、感電や負傷の原因となります。



注：アースされたピンは、近くにある他の電気デバイスで生成された予期せぬノイズから保護するために提供されています。これらのノイズは本製品のパフォーマンスの障害となります。

- 本製品は、付属の電源装置のコードセットでのみ使用してください。電源コードセットを交換する必要がある場合、新しい電源コードが次の要件を満たしていることを確認してください。データベースタイプ、UL 指定 / CSA 認定、タイプ SPT-2、定格 7A 125V 最小、VDE 承認済みまたはその同等品、4.6メートルの最大長。

## 製品の修理

本製品をご自分で分解、修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧ポイントまたはその他の危険にさらされることがあります。すべての修理はエイサー サポートセンターに依頼してください。

以下の場合、コンセントから本製品のプラグを抜き、エイサー サポートセンターに修理を依頼してください。

- 電源コードまたはプラグが損傷、切断または擦り切れた
- 製品に液体が入った
- 製品が雨または水にさらされた
- 製品が落下した、またはケース、内部パーツが破損した
- 製品のパフォーマンスに著しい変化が見られる場合、修理の必要性がありません。
- 操作指示に従っても製品が正常に動作しない



注：操作指示の対象となっている調整のみ行ってください。不適切な調整を行うと、損傷、故障の原因ともなり、製品を正常な状態に復元することが出来なくなる恐れがあります。



警告：安全上の理由で、部品を追加、交換する際は、純正部品以外は使用できません。その他の購入オプションについては、エイサー サポートセンターにお問い合わせください。

お使いの本製品とその付属品には小さな部品や、精密部品が含まれています。それらの部品はお子様の手の届かない場所に保管してください。

## 安全に関する追加情報

- ランプの電源がオンになっているとき、プロジェクタのレンズを見つめないでください。強い光で目が損傷する場合があります。
- まずプロジェクタ、次に接続機器の電源をオンにします
- 次の環境下に製品を設置しないでください。
  - 換気の悪い場所または密閉された場所。壁から少なくとも 50cm 離して設置し、プロジェクタの回りに適切な空気の流れるスペースを確保する必要があります。
  - 窓を閉め切った車内など、温度がきわめて高くなるような場所。
  - 湿度の高い場所、埃または煙草の煙の多い場所。これらは光学コンポーネントを汚染して製品寿命を縮め、画像を暗くします。
  - 火災警報機の近く。
  - 周辺温度が 40 °C/104 °F 以上になる場所。
  - 高度が 3000m 以上の高さになる場所。
- プロジェクタに何か異常が発生した場合、直ちにプラグを抜いてください。プロジェクタから煙、異音または異臭が出た場合、直ちに操作を終了してください。火災または感電の原因となります。この場合、直ちにプラグを抜きエイサー サポートセンター連絡してください。

- 製品が壊れたり落ちたりした場合、そのまま使い続けしないでください。この場合、エイサーサポートセンターに依頼して検査を行ってください。
- プロジェクタのレンズを太陽に向けしないでください。発火する恐れがあります。
- プロジェクタの電源をオフにするとき、プロジェクタが冷却サイクルを完了したのを確認してから電源を切ってください。
- プロジェクタを操作中、急にコンセントを引き抜いたりプラグを抜いたりしないでください。ランプが破損したり、感電またはその他のトラブルの原因となります。最良の方法はファンの回転が完全に停止してからメインの電源をオフにすることです。
- 空気吹き出し口の格子や底板は熱くなっているため、触らないでください。
- エアフィルタが付いている場合は、頻繁に洗浄してください。フィルタ/通気スロットがごみや埃で詰まると、内部の温度が上がり故障の原因となります。
- プロジェクタを操作しているとき、通気口の格子をのぞき込まないでください。目を損傷する可能性があります。
- プロジェクタの電源がオンになっているときは必ず、レンズシャッターを開くかレンズキャップを取り外した状態にしてください。
- プロジェクタが操作されているときはプロジェクタのレンズを何かの物体で塞がないでください。物体が過熱して変形したり、場合によっては火災の原因となります。ランプを一時的にオフにし、リモコンのHIDE(非表示)を押します。
- 操作中、ランプは高温になっています。交換のためにランプアセンブリを取り外す場合、前もって45分間ほどプロジェクタを冷却させてください。
- 定められたランプの寿命を超えて、ランプを使用しないでください。まれですが、破損する場合があります。
- プロジェクタの電源プラグをつないだまま、ランプアセンブリや電子部品を交換しないでください。
- 製品はランプの寿命を自動的に検出します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプを交換するとき、装置を冷却し、交換に関するすべての手順に従ってください。
- ランプモジュールを交換した後、オンスクリーンディスプレイの「投射設定」メニューから「ランプ使用時間リセット」機能をリセットしてください。
- このプロジェクタを分解しないでください。内部には危険な高電圧が流れており、危害が及ぶ可能性があります。ユーザーが修理できる部品はランプのみで、専用の取り外しカバーが付いています。修理は、エイサーサポートセンターにご依頼ください。
- プロジェクタを垂直に立てないでください。プロジェクタが倒れ、負傷したり、製品が損傷する原因となります。
- このプロジェクタは、天井に取り付けた場合のために倒立画像を表示することができます。プロジェクタの取り付けに際しては規定の市販天井取付キットのみを使用し、しっかり取り付けられていることを確認してください。

## ワイヤレス機能を使用する場合の動作環境 (オプション)



**警告**: 安全上の理由で、次の条件下で機械を使用しているとき、すべてのワイヤレスまたは無線通信デバイスの電源をオフにしてください。これらのデバイスにはワイヤレス LAN(WLAN)、Bluetooth、3G が含まれます。

地域で施行されている特別な規制に従い、使用が禁止されているとき、または障害または危険の原因となるときは常にデバイスの電源をオフにします。デバイスは、正常な操作位置でのみ使用してください。本デバイスは正常に使用しているとき RF 被爆ガイドラインを満たしており、本デバイスとそのアンテナは体から 1.5 cm 以上離して設置してください。デバイスに金属を含めず、体から上で述べた距離を置いて設置する必要があります。

データファイルやメッセージを正常に転送するには、本デバイスがネットワークに高品質で接続されている必要があります。場合によっては、そのような接続を使用できるようになるまでデータファイルやメッセージの転送が遅くなることがあります。

転送が完了するまで、上で述べた距離の指示に必ず従ってください。

デバイスの部品には磁気があります。金属物質がデバイスに引き付けられ、補聴器を使っている人は補聴器を付けた耳の傍にデバイスを近づけないようにしてください。クレジットカードやその他の磁気記憶メディアをデバイスの傍に設置しないでください。それらのデバイスに格納された情報が消去されます。

## 医療デバイス

ワイヤレス電話を含め、無線送信機器を操作すると不適切に保護された医療デバイスの機能に障害を与えることがあります。医療デバイスが外部の RF エネルギーから適切にシールドされているかどうかを判断する場合、または何か質問がある場合、医師または医療デバイスの製造元にお問い合わせください。これらの地域で課されている規制に指示された場合、医療施設のデバイスの電源をオフにしてください。病院や医療施設は、外部 RF 転送に敏感に反応する装置を使用していることがあります。

ペースメーカー。ペースメーカーの製造元は、ペースメーカーへの障害を避けるために、ワイヤレスデバイスとペースメーカーの間に 15.3 cm 以上の間隔を置くように推奨しています。これらの推奨は、ワイヤレステクノロジーリサーチによる独自の研究および推奨に一致しています。ペースメーカーを付けている人は、次を実施する必要があります。

- デバイスは、ペースメーカーから常に 15.3 cm 以上離すようにしてください。
- デバイスのスイッチをオンにしているとき、ペースメーカーの傍にデバイスを近づけないでください。障害の疑いがある場合、デバイスの電源をオフにして、移動してください。

補聴器デジタルワイヤレスデバイスの中には、一部の補聴器に障害を及ぼすものがあります。障害が発生した場合、サービスプロバイダにお問い合わせください。

## 車両

RF 信号は電子噴射装置、電子滑り止め（アンチロック）ブレーキシステム、電子速度制御システム、およびエアバッグシステムなど、自動車の不適切に取り付けられたまたは不完全にシールドされた電子システムに影響を与えることがあります。詳細については、車両または追加された装置の製造元、またはその代理店にお問い合わせください。正規の修理スタッフのみがデバイスを修理したり、車両にデバイスを取り付けることができます。不完全な取り付けや修理は危険であり、デバイスに適用される保証を無効にすることがあります。車両のすべてのワイヤレス装置が正しく取り付けられ、動作していることを定期的にチェックしてください。デバイス、その部品、または付属品と同じコンポーネントに可燃性液体、ガス、または爆発性物質を入れて保管したり運んだりしないでください。エアバッグを搭載した車両の場合、エアバッグが勢いよく膨らむことを忘れないでください。取り付けたワイヤレス装置またはポータブルワイヤレス装置を含め、いかなる物体もエアバッグの上の領域またはエアバッグが膨らむ場所に設置しないでください。車載のワイヤレス装置が不適切に取り付けられている場合、エアバッグが膨らむと、重傷を負うことがあります。

飛行機に乗っている間、本デバイスは絶対に使用しないでください。飛行機に搭乗する前に、デバイスのスイッチをオフにしてください。飛行機の中でワイヤレスデバイスを使用することは飛行機の計器に悪影響を与え、ワイヤレス電話ネットワークを混乱させ、違法でもあります。

## 潜在的に爆発性の環境

潜在的に爆発性の環境にいるときはデバイスのスイッチをオフにし、すべての記号と指示に従ってください。潜在的に爆発性の環境には、通常車両のエンジンをオフにするように指摘される場所を含みます。そのような場所で火花が出ると爆発または火災の原因となり、負傷したり最悪の場合死を招くことがあります。ガソリンスタンドのガスポンプの傍など、燃料補給地点ではデバイスのスイッチをオフにしてください。燃料貯蔵庫、倉庫、配送エリア、化学プラント、または爆破作業を行っている場所では、無線機器の使用に関する制限を守ってください。潜在的に爆発性の環境のある場所は、しばしば（しかし常にではない）はっきりマークされていることがあります。これには、船舶の主甲板の下、化学薬品の中継施設または保管施設、（プロパンまたはブタンガスなどの）液化石油ガスを使用する自動車、空気に穀物、粉塵または金属粉などの化学薬品または粒子を含む場所が含まれます。

## 聞く場合の注意

聴力を守るために、以下の指示に従ってください。

- はっきりと聞きやすい音量になるまで、音量を徐々に上げてください。
- 調整後は、音量レベルを上げないでください。
- 音量を高くしたまま、長時間にわたり音楽を聞かないでください。
- 回りの騒音を遮るために、音量を上げることは避けてください。
- 傍にいる人の話し声が聞こえない場合は、音量を落としてください。

## 廃棄に関する指示

この電子デバイスを廃棄するとき、ゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、リサイクルしてください。電気電子機器廃棄物リサイクル指令 (WEEE) 規制の詳細については、<http://global.acer.com/about/sustainability.htm> にアクセスしてください。



## 水銀に関する勧告

LCD/CRT モニタまたはディスプレイを含むプロジェクタまたは電子製品の場合：



「ランプには水銀が含まれていません。適切に廃棄してください。」

製品内のランプには水銀が含まれており、国または地方自治体の法に従ってリサイクルまたは廃棄する必要があります。詳細については、エレクトロニクス産業協議会 [www.eiae.org](http://www.eiae.org) までお問い合わせください。ランプ固有の廃棄情報については、[www.lamprecycle.org](http://www.lamprecycle.org) をチェックしてください。

# 重要事項の確認

## 使用に関する注意

推奨事項：

- クリーニングする前に製品の電源をオフにする。
- 中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布を使用して、本体外面をクリーニングする。
- 製品を長期間使用しない場合、AC コンセントから電源プラグを抜く。

禁止事項：

- 通気用に設けられた装置のスロットと開口部を塞ぐ。
- 研磨剤入り洗剤、ワックスまたは溶剤を使用して装置を洗浄する。
- 次の状況下で使用する。
  - 極端な高温、低温または湿度環境。
  - 過度の埃やごみの出やすい地域。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光にさらされる場所。

## 注意事項

装置の寿命を最大限に延ばすために、このユーザーズガイドのすべての警告、注意事項およびメンテナンスに従ってください。



### 警告：

- ランプの電源がオンになっているとき、プロジェクタのレンズを見つめないでください。強い光で目が損傷する場合があります。
- 火災や感電の原因となるため、この製品を雨や湿気にさらさないでください。
- 感電の原因となるため、製品を開けたり分解しないでください。
- ランプを交換するとき、装置を冷却し、交換に関するすべての手順に従ってください。
- この製品はランプの寿命を自動的に検出します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した後、オンスクリーンディスプレイの「投射設定」メニューから「ランプ使用時間リセット」機能をリセットしてください。
- プロジェクタの電源をオフにするとき、プロジェクタが冷却サイクルを完了したのを確認してから電源を切断してください。
- まずプロジェクタ、次に信号ソースの電源をオンにします。
- プロジェクタを操作中はレンズキャップを使用しないでください。
- ランプが製品の寿命に達すると、焼け切れてぼんという大きな音が出ます。その場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタはオンになりません。ランプの交換は、「ランプを交換する」の下に一覧表示された手順に従ってください。

安全で快適にご使用いただくための注意事項	iii
重要事項の確認	x
使用に関する注意	x
注意事項	x
はじめに	1
製品の機能	1
パッケージの概要	2
プロジェクトの概要	3
プロジェクトの外観	3
コントロールパネル	4
リモコンレイアウト	5
使用の手引き	7
プロジェクトを接続する	7
プロジェクトのオン/オフを切り換える	8
プロジェクトをオンにする	8
プロジェクトをオフにする	9
投影された画像を調整する	10
投影された画像の高さを調整する	10
画像サイズと距離を最適化する方法	11
距離とズームを調整してお好みの画像を 表示する方法 13	
ユーザーコントロール	15
インストールメニュー	15
Acer Empowering Technology	16
オンスクリーン画面 (OSD) メニュー	17
色	18
イメージ	19
設定	21
投射設定	23
オーディオ	24
タイマー	25
言語	25



付録	26
トラブルシューティング	26
LED およびアラーム定義の一覧	30
ランプを交換する	31
天井への取り付け	32
仕様	35
互換モード	37
規制と安全に関する通知	40

# はじめに

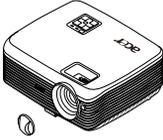
## 製品の機能

この製品はシングルチップ DLP® プロジェクタです。優れた機能には、以下が含まれます。

- DLP® テクノロジ
- X1130: ネーティブ 800 x 600 SVGA 解像度  
X1230/X1230S: ネーティブ 1024 x 768 XGA 解像度  
サポートされる 4:3 / 16:9 縦横比
- Acer ColorBoost テクノロジでは、自然のトゥルーカラーを提供して鮮明で、実物そっくりの画像を生成します
- 高い輝度およびコントラスト比
- 多目的表示モード (明るさ、標準、ビデオ、ブラックボード、ユーザー 1、ユーザー 2) により、どんな状況下でも最適のパフォーマンスを発揮
- NTSC / PAL / SECAM 互換と HDTV (720p、1080i) のサポート
- 低い消費電力とエコ (ECO) モードで、ランプの寿命を伸ばしています
- Acer EcoProjecton Technology では、インテリジェントな電源管理アプローチと物的効率の向上を提供します。
- エンパワーキーにより、Acer Empowering Technology ユーティリティ (Acer eView、eTimer、ePower Management) が呼び出され、設定を簡単に調整可能
- 拡張デジタルキーストーン補正で、最適のプレゼンテーションを実現
- 多言語オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー
- 全機能リモコン
- X1130/X1230: 手動フォーカスプロジェクションレンズで最大 1.1X までズーム
- 2X デジタルズームとパンモード機能
- Microsoft® Windows® 2000, XP, Vista® OS 準拠

## パッケージの概要

プロジェクタには、以下に表示するアイテムが付属しています。装置に付属品が揃っていることを確認します。付属品が足りない場合、直ちに販売店にご連絡ください。



プロジェクタ (レンズキャップ付き)



電源コード



VGA ケーブル



コンポジットビデオケーブル



セキュリティカード



ユーザーズガイド (CD-ROM)



リモコン



クイックスタートガイド



電池 x 2

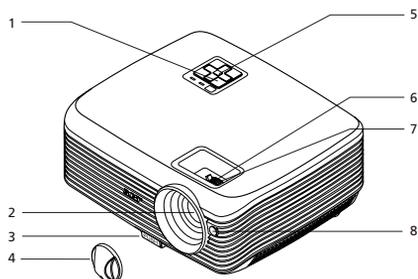


キャリーケース

# プロジェクタの概要

## プロジェクタの外観

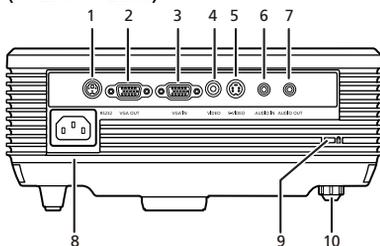
前面 / 上部



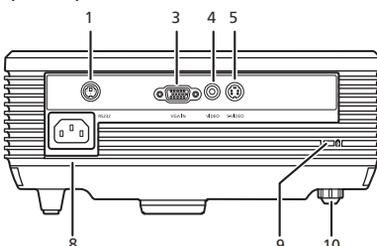
#	説明	#	説明
1	電源キーと電源インジケータ LED	5	コントロールパネル
2	投射方式レンズ	6	ズームリング
3	エレベータボタン	7	フォーカスリング
4	レンズキャップ	8	リモコンレーサー

裏面

(X1230/X1230S)

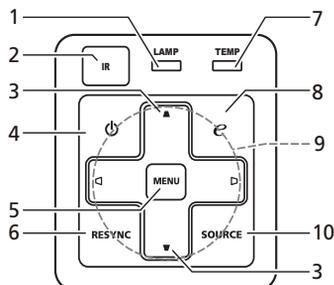


(X1130)



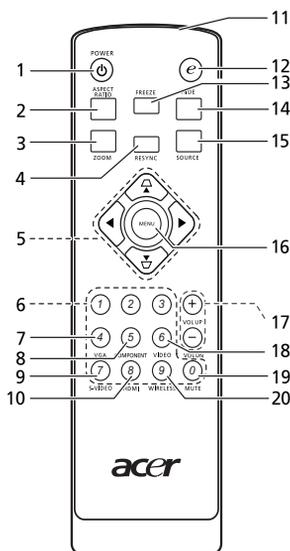
#	説明	#	説明
1	RS232 コネクタ	6	オーディオ入力コネクタ
2	モニタープスルー出力コネクタ	7	オーディオ出力コネクタ
3	PC アナログ信号 /HDTV/ コンポーネントビデオ入力コネクタ	8	電源ソケット
4	コンジットビデオ入力コネクタ	9	Kensington™ ロックポート
5	Sビデオ入力コネクタ	10	傾き調整ホイール

## コントロールパネル



#	機能	説明
1	LAMP (ランプ)	ランプインジケータ LED
2	IR	リモコンレシーバー
3	Keystone (キーストーン)	プロジェクタを傾けたことにより引き起こされたイメージの歪みを調整します (± 40 度)。
4	電源キーと電源インジケータ LED	" プロジェクタのオン/オフを切り換える " セクションを参照してください。
5	MENU (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「メニュー」を押すとオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動したり、OSD メニュー操作の前のステップに戻ったり、OSD メニューを終了したりできます。</li> <li>アイテムの選択を確認してください。</li> </ul>
6	RESYNC (再同期)	プロジェクタを入力ソースに自動的に同期化します。
7	TEMP (温度)	温度インジケータ LED
8	エンパワーキー	Acer 固有の機能: eView、eTimer、ePower Management。
9	4 つの方向選択キー	アイテムを選択するか、選択に合わせて調整します。
10	SOURCE (ソース)	「ソース」を押して RGB、コンポーネント、S ビデオ、コンポジット、HDTV および HDMI™ ソース を選択します。

## リモコンレイアウト



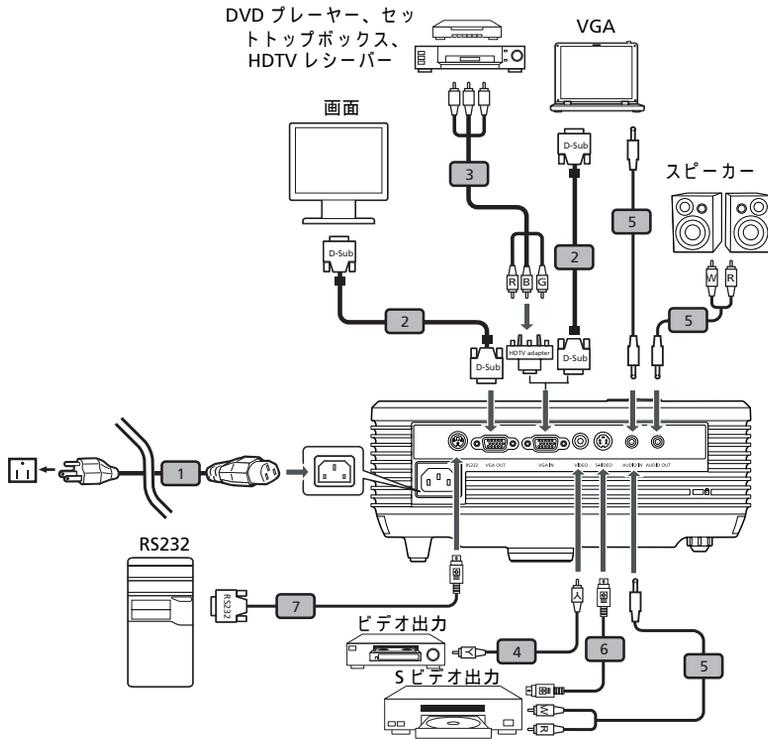
#	機能	説明
1	POWER (電源)	" プロジェクタのオン/オフを切り換える " セクションを参照してください。
2	ASPECT RATIO (縦横比)	目的の縦横比を選択します (自動 /4:3/16:9)。
3	ZOOM (ズーム)	プロジェクタのディスプレイのズームイン/ズームアウトを切り換えます。
4	RESYNC (再同期)	プロジェクタを入力ソースに自動的に同期化します。
5	△ キーストーン ▽	プロジェクタを傾けたことにより引き起こされたイメージの歪みを調整します (± 40度)。
	4つの方向 選択キー	アイテムを選択するか、選択に合わせて調整します。
6	キーパッド 0~9	「0~9」を押して「セキュリティ>設定」にパスワードを入力します。
7	VGA	ソースをVGAに変更します。このコネクタはアナログRGB、YPbPr (480p/576p/720p/1080i)、YCbCr (480i/576i)、をサポートします。

#	機能	説明
8	COMPONENT (コンポーネント)	ソースをコンポジットビデオに変更します。このコネクタは YPbPr (480p/576p/720p/1080i) と YCbCr (480i/576i) をサポートします。
9	S_VIDEO (S ビデオ)	ソースを S ビデオに変更します。
10	HDMI™	ソースを HDMI に変更します。(HDMI コネクタの搭載されたモデル用)
11	赤外線送信機	プロジェクタに信号を送信します
12	エンパワーキー	Acer 固有の機能: eView、eTimer、ePower Management。
13	FREEZE (フリーズ)	スクリーンイメージを一時停止します。
14	HIDE (非表示)	ビデオをちょっとした間オフにします。「非表示」を押すと画像は非表示になり、もう一度押すと表示されます。
15	SOURCE (ソース)	「ソース」を押して RGB、コンポーネント、S ビデオ、コンポジット、HDTV および HDMI™ ソース を選択します。
16	MENU (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「メニュー」を押すとオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動したり、OSD メニュー操作の前のステップに戻ったり、OSD メニューを終了したりできます。</li> <li>アイテムの選択を確認してください。</li> </ul>
17	VOL UP/VOL DN	音量の増減を切り替えます。
18	VIDEO (ビデオ)	ソースをコンポジットビデオに変更します。
19	MUTE (消音)	音量のオン/オフを切り換えます。
20	WIRELESS (ワイヤレス)	「ワイヤレス」を押すと、「Acer eProjection 管理」を通して PC からプロジェクタまでワイヤレスで送信される画像を表示します。(ワイヤレスモデル用)



# 使用の手引き

## プロジェクタを接続する



#	説明	#	説明
1	電源コード	5	オーディオケーブル
2	VGA ケーブル	6	Sビデオケーブル
3	VGA 対コンポーネントビデオ/HDTV アダプタ	7	RS232 ケーブル
4	コンポジットビデオケーブル		

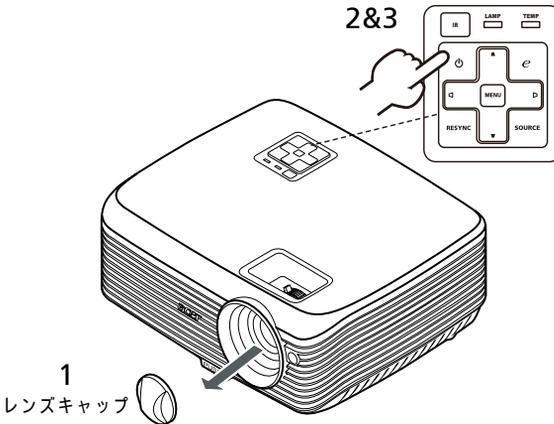


**注:** プロジェクタがコンピュータで正常に作動するように、ディスプレイモードのタイミングがプロジェクタに対応していることを確認してください。

# プロジェクトアのオン/オフを切り換える

## プロジェクトアをオンにする

- 1 レンズキャップを取り外します。
- 2 電源コードと信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認します。電源インジケータ LED が赤く点滅します。
- 3 コントロールパネルまたはリモコンの  (電源) を押してプロジェクトアの電源をオンにすると、電源インジケータ LED が青く変わります。
- 4 ソース (コンピュータ、ノート PC、ビデオプレーヤーなど) の電源をオンにします。プロジェクトアはソースを自動的に検出します。
  - 画面が「ロック」と「ソース」アイコンを表示する場合、プロジェクトアが特定ソースタイプでロックされ、そのタイプの入力信号が検出されないことを意味します。
  - 画面に「信号なし」が表示される場合、信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
  - 複数のソースに同時に接続する場合、コントロールパネルまたはリモコンの「ソース」、またはリモコンの直接ソースキーを使用して入力を切り換えます。



## プロジェクタをオフにする

- 1 プロジェクタの電源をオフにするには、 (電源) を 2 度押します。以下のメッセージは、10 秒間オンスクリーンに表示されます。  
「電源ボタンをもう一度押して遮断プロセスを完了してください。」
- 2 電源をオフにすると直ちに、電源インジケータ LED が赤く点滅し、ファンが約 120 秒間作動を続けます。これにより、システムは正しく冷却されます。
- 3 システムが冷却を終了すると、電源インジケータ LED が赤く点灯しますが、これはプロジェクタがスタンバイモードに入ったことを意味します。
- 4 これで、電源コードを安全に抜くことができるようになりました。



.....

**警告：**電源がオフになっても、すぐにプロジェクタの電源をオンにしないでください。



.....

**注：**プロジェクタの電源を再びオンにするには、少なくとも 60 秒待ってから「電源」ボタンを押してプロジェクタを再起動する必要があります。



.....

**警告インジケータ：**

- プロジェクタが自動的に停止し **LAMP(ランプ)** インジケータが赤く点灯した場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。
- プロジェクタが自動的に停止し **TEMP(温度)** インジケータが赤く点灯した場合、プロジェクタが過熱していることを示しています。この状態になる前に、以下のメッセージがオンスクリーンに表示されます。  
「プロジェクタが過熱しています。ランプは間もなく自動的にオフになります」。
- **TEMP(温度)** インジケータが赤く点灯し以下のメッセージがオンスクリーンに表示された場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡してください。  
「ファンが故障しています。ランプは間もなく自動的にオフになります」。

## 投影された画像を調整する

### 投影された画像の高さを調整する

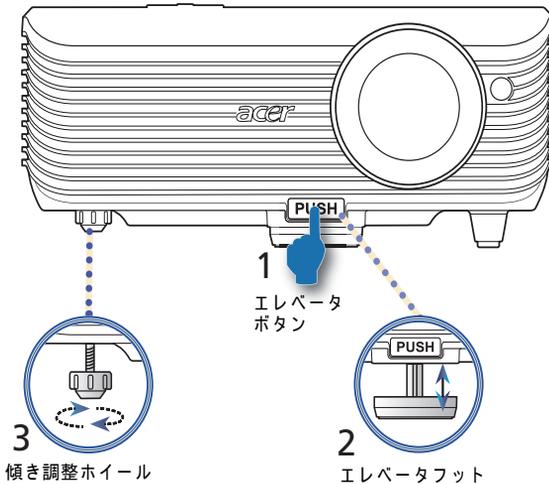
プロジェクタには、画像の高さを調整するためのエレベータフットが装備されています。

画像を高くするには：

- 1 エレベータフットリリースを押します。
- 2 画像を目的の高さの角度に引き上げ、ボタンを放してエレベータフットを所定の位置に合わせます。
- 3 傾き調整ホイールを使用して、ディスプレイの角度を微調整します。

画像を低くするには：

- 1 エレベータフットリリースを押します。
- 2 画像を目的の高さの角度に引き下げ、ボタンを放してエレベータフットを所定の位置に合わせます。
- 3 傾き調整ホイールを使用して、ディスプレイの角度を微調整します。



## 画像サイズと距離を最適化する方法

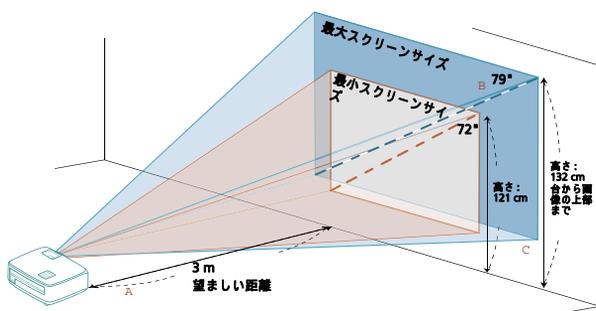
プロジェクタを画面から目的の距離に設置したら、以下の表を参考にして得られる最適の画像サイズを見つけてください。

- X1130/X1230

プロジェクタが画面から 3m 離れている場合、72" ~ 79" のサイズの画像で優れた画像品質が得られます。



注：以下の図で示すように、3 m の距離では 132 cm の高さのスペースが必要です。



目的の距離 (m) < A >	最小画面サイズ (最小ズーム)			最大画面サイズ (最大ズーム)		
	対角 (インチ) < B >	幅 (cm) x 高さ (cm)	台から画像の上部まで (cm) < C >	対角 (インチ) < B >	幅 (cm) x 高さ (cm)	台から画像の上部まで (cm) < C >
1	24	49 x 37	40	26	54 x 40	44
2	48	98 x 74	80	53	108 x 81	89
2.5	60	123 x 92	101	66	134 x 101	111
3	72	147 x 110	121	79	161 x 121	132
3.5	84	172 x 129	141	93	188 x 141	156
4	96	196 x 147	161	106	215 x 161	178
4.5	108	221 x 165	181	119	242 x 181	199
5	120	245 x 184	201	132	269 x 202	221
6	144	294 x 221	241	159	323 x 242	267
7	168	343 x 257	282	185	376 x 282	310
8	192	392 x 294	322	212	430 x 323	355
9	216	441 x 331	362	238	484 x 363	399
10	241	490 x 368	404	265	538 x 403	444

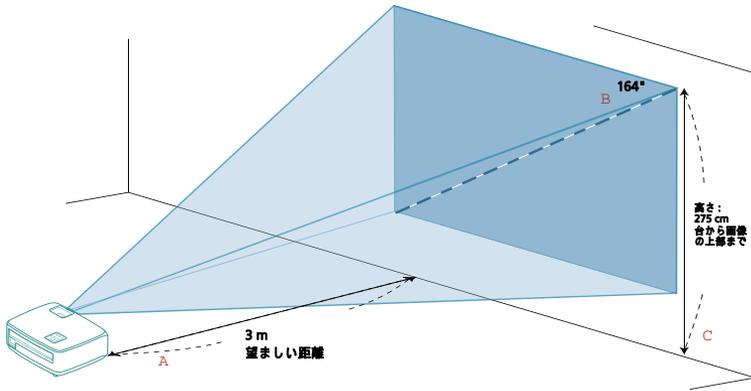
ズーム比: 1.1 x

- X12305

プロジェクタが画面から3m離れている場合、164"のサイズの画像で優れた画像品質が得られます。



注：以下の図で示すように、3 m の距離では 275 cm の高さのスペースが必要です。



目的の 距離 (m) < A >	最小画面サイズ (最小ズーム)		
	対角 (イ ンチ) < B >	幅 (cm) x 高さ (cm)	台から画像の 上部まで (cm) < C >
1	55	111 x 83	92
2	109	222 x 167	183
2.5	137	278 x 208	229
3	164	333 x 250	275
3.5	191	389 x 292	321
4	219	444 x 333	367
4.5	246	500 x 375	413
5	273	556 x 417	458
6	328	667 x 500	550
7	383	778 x 583	642
8	437	889 x 667	733
9	492	1000 x 750	825
10	547	1111 x 833	917

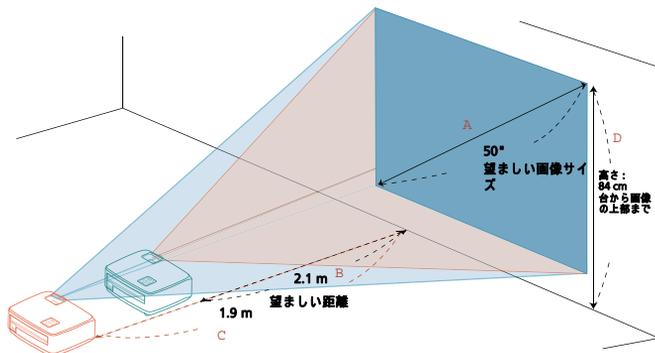
ズーム比：1.0 x

## 距離とズームを調整してお好みの画像を表示する方法

以下の表には、位置またはズームリングを調整して目的の画像サイズを表示する方法が示されています。

- X1130/X1230

50" の画像サイズを表示するには、プロジェクタをスクリーンから 1.9 m ～ 2.1 m の距離にセットし、それに従ってズームレベルを調整します。

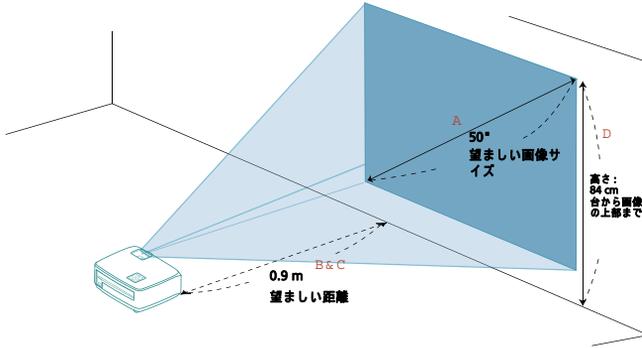


目的の画像サイズ		距離 (m)		上部 (cm)
対角 (インチ) <A>	幅 (cm) x 高さ (cm)	最大ズーム <B>	最小ズーム <C>	台から画像の上部まで <D>
30	61 x 46	1.1	1.2	50
40	81 x 61	1.5	1.7	67
50	102 x 76	1.9	2.1	84
60	122 x 91	2.3	2.5	101
70	142 x 107	2.6	2.9	117
80	163 x 122	3.0	3.3	134
90	183 x 137	3.4	3.7	151
100	203 x 152	3.8	4.2	168
120	244 x 183	4.5	5.0	201
150	305 x 229	5.7	6.2	251
180	366 x 274	6.8	7.5	302
200	406 x 305	7.6	8.3	335
250	508 x 381	9.4	10.4	419
300	610 x 457	11.3		503

ズーム比 : 1.1 x

- X1230S

50" のイメージサイズを表示するには、プロジェクタを画面から 0.9 m の距離にセットし、それによってズームレベルを調整します。



目的の画像サイズ		距離 (m)		上部 (cm)
対角 (インチ) < A >	幅 (cm) x 高さ (cm)	最大ズーム < B >	最小ズーム < C >	台から画像の上部まで < D >
30	61 x 46	0.5	0.5	50
40	81 x 61	0.7	0.7	67
50	102 x 76	0.9	0.9	84
60	122 x 91	1.1	1.1	101
70	142 x 107	1.3	1.3	117
80	163 x 122	1.5	1.5	134
90	183 x 137	1.6	1.6	151
100	203 x 152	1.8	1.8	168
120	244 x 183	2.2	2.2	201
150	305 x 229	2.7	2.7	251
180	366 x 274	3.3	3.3	302
200	406 x 305	3.7	3.7	335
250	508 x 381	4.6	4.6	419
300	610 x 457	5.5		503

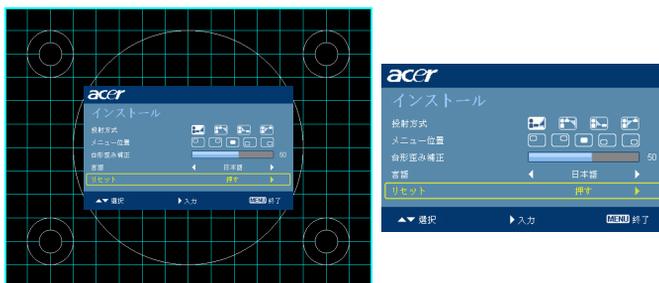
ズーム比: 1.0 x

# ユーザーコントロール

## インストールメニュー

インストールメニューには、プロジェクタの取り付けや保守に関するオンスクリーンディスプレイ (OSD) があります。OSD メッセージは、「信号入力がありません」というメッセージが画面に表示されているときのみお使いください。

- 1 コントロールパネルまたはリモコンの  (電源) を押して、プロジェクタの電源をオンにします。
- 2 コントロールパネルまたはリモコンの「メニュー」ボタンを押して OSD を起動し、プロジェクタのインストールや保守を行います。



- 3 背景のパターンはガイドとして作動し、画面サイズや距離、フォーカスなどの構成や位置合わせ設定を調整します。
- 4 インストールメニューには、次のオプションが含まれます。
  - 映写方法
  - メニュー位置
  - キーストーン設定
  - 言語設定
  - 工場出荷時機能へのリセット

上下矢印キーを使用してオプションを選択し、左右矢印キーを使用して選択したオプション設定を調整し、右矢印キーを使用してサブメニューには入り機能を設定します。新しい設定はメニューを終了するときに、自動的に保存されます。

- 5 いつでも「メニュー」ボタンを押すとメニューを終了し、Acer のようにこそ画面に戻ります。

# Acer Empowering Technology

<p><b>エンパワー キー</b></p> 	<p>Acer Empowering Key には、「Acer eView Management」、「Acer eTimer Management」、「Acer ePower Management」の Acer 固有の 3 つの機能が組み込まれています。1 秒以上「<b>E</b>」を押すと、オンスクリーン画面のメインメニューが起動し、その機能を変更できます。</p>
<p><b>Acer eView Management</b></p> 	<p>「<b>E</b>」を押して「Acer eView Management」を起動します。「Acer eView Management」は、画面モードを選択するためのものです。詳細は、「オンスクリーン画面 (OSD) メニュー」セクションを参照してください。</p>
<p><b>Acer eTimer Management</b></p> 	<p>「<b>E</b>」を押して「Acer eTimer Management」を起動します。「Acer eTimer Management」では、プレゼンテーション時間制御用に催促機能を用意しています。詳細は、「オンスクリーン画面 (OSD) メニュー」セクションを参照してください。</p>
<p><b>Acer ePower Management</b></p> 	<p>「<b>E</b>」を押して「Acer ePower Management」を起動します。「Acer ePower Management」には、ランプとプロジェクタの寿命を節約するためのショートカットが 1 つ付いています。詳細は、「オンスクリーン画面 (OSD) メニュー」セクションを参照してください。</p>

## オンスクリーン画面 (OSD) メニュー

プロジェクトにはマルチリンガルオンスクリーン画面 (OSD) メニューが装備されているため、イメージを調整し、さまざまな設定を変更することができます。

### OSD メニューを使用する

- OSD メニューを開くには、コントロールパネルまたはリモコンで「MENU (メニュー)」を押します。
- OSD が表示されているとき、  を使用してメインメニューのアイテムを選択します。目的のメインメニューアイテムを選択した後、 を押して機能設定用のサブメニューに入ります。
-   を使用して目的のアイテムを選択し、  を使用して設定を調整します。
- サブメニューで調整する次のアイテムを選択し、上で説明したように調整します。
- コントロールパネルまたはリモコンの「MENU (メニュー)」を押すと、画面はメインメニューに戻ります。
- OSD メニューを閉じるには、コントロールパネルまたはリモコンで「MENU (メニュー)」を再び押します。OSD メニューが閉じ、プロジェクトは新しい設定を自動的に保存します。



## 色



画面モード	<p>さまざまなタイプのイメージに対して最適化された、多くの工場プリセットがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 明るさ：輝度の最適化用。</li> <li>● 標準：共通環境用。</li> <li>● ビデオ：明るい環境でビデオを再生するため、</li> <li>● ブラックボード：ブラックボードモードでは、暗い表面に投射するとき表示された色を強化できます。</li> <li>● ユーザー 1：ユーザーの設定を記憶します。</li> <li>● ユーザー 2：ユーザーの設定を記憶します。</li> </ul>
輝度	<p>イメージの輝度を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀を押すとイメージは暗くなります。</li> <li>● ▶を押すとイメージは明るくなります。</li> </ul>
コントラスト	<p>「コントラスト」は、映像のもっとも明るい部分ともっとも暗い部分の相違の程度を制御します。コントラストを調整すると、イメージの黒と白の量が変更されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀を押すとコントラストが下がります。</li> <li>● ▶を押すとコントラストが上がります。</li> </ul>
色温度	<p>色温度を調整します。色温度を高くすると、画面は冷たく見えます。色温度を低くすると、画面は温かく見えます。</p>
ガンマ補正	<p>暗いシーンを表現します。ガンマ値を大きくすると、暗いシーンが明るくなります。</p>
赤	<p>赤い色を調整します。</p>
緑	<p>緑の色を調整します。</p>
青	<p>青い色を調整します。</p>

<b>彩度</b>	ビデオイメージを白黒から完全な飽和色まで調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀を押すとイメージの色の量が減少します。</li> <li>▶を押すとイメージの色の量が増加します。</li> </ul>
<b>色彩</b>	赤と緑の色バランスを調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◀を押すとイメージの緑の量が増加します。</li> <li>▶を押すとイメージの赤の量が増加します。</li> </ul>

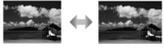


注：「彩度」と「色彩」は、コンピュータモードの下ではサポートされていません。

## イメージ



<b>投射方式</b> 	<b>フロントデスクトップ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>工場出荷時の設定です。</li> </ul>
	<b>フロントシーリング</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能を選択すると、プロジェクタは天井からの投影に対してイメージを転倒します。</li> </ul>
	<b>背面デスクトップ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能を選択すると、半透明画面の後ろから投射できるように、プロジェクタはイメージを反転します。</li> </ul>
	<b>背面シーリング</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>この機能を選択すると、プロジェクタはイメージの反転と転倒を同時に行います。天井からの投影で半透明画面の後ろから投影することができます。</li> </ul>

<p><b>アスペクト比</b></p> <p>4:3      16:9</p> 	<p>この機能を使用して、目的のアスペクト比を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動: イメージを元の幅と高さ比を保ちながら、イメージがネイティブの水平または垂直画素にフィットするように最大化します。</li> <li>● 4:3: イメージは画面にフィットするように拡大縮小され、4:3比を使用して表示されます。</li> <li>● 16:9: イメージは画面にフィットするように拡大縮小され、16:9比を使用して表示されます。</li> </ul>
<p><b>自動歪み補正</b></p>	<p>プロジェクタを傾けたことにより引き起こされたイメージの歪みを自動的に調整します (±40度)。</p>
<p><b>手動歪み補正</b></p>	<p>プロジェクタを傾けたことにより引き起こされたイメージの歪みを手動的に調整します (±40度)。</p> 
<p><b>鮮明度</b></p>	<p>イメージの鮮明度を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀ を押すと鮮明度が下がります。</li> <li>● ▶ を押すと鮮明度が上がります。</li> </ul>
<p><b>水平位置</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀ を押すとイメージは左に移動します。</li> <li>● ▶ を押すとイメージは右に移動します。</li> </ul>
<p><b>垂直位置</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ◀ を押すとイメージは下に移動します。</li> <li>● ▶ を押すとイメージは上に移動します。</li> </ul>
<p><b>周波数</b></p>	<p>「周波数」は、コンピュータのグラフィックスカードの周波数に一致するように、プロジェクタのリフレッシュ速度を変更します。投射されたイメージに垂直のバーがちらついて表示される場合、この機能を使用してちらつきを補正してください。</p>
<p><b>トラッキング</b></p>	<p>グラフィックカードで画面の信号タイミングを同期化します。イメージが不安定だったりちらつく場合、この機能を使用して補正してください。</p>



注: 「水平位置」、「垂直位置」、「周波数」および「トラッキング」機能はビデオモードではサポートされていません。

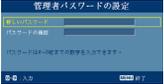
注: 「鮮明度」機能は、コンピュータモードではサポートされていません。

## 設定



メニュー位置	表示画面の OSD メニューの位置を選択します。
ソースロック	この機能がオフになっているとき、現在の入力信号が失われるとプロジェクタは他の信号を検索します。この機能がオンになっているとき、次のチャンネルに対してコントロールパネルまたはリモコンの「ソース」を押すまで、現在のソースチャンネルはロックされます。
クローズドキャプション	<p><b>クローズドキャプション有効</b> 「オン」を選択すると、選択した入力信号がクローズドキャプションを伝達するときに機能が有効になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>字幕：テレビ番組の会話、ナレーション、およびサウンド効果および字幕の付いたビデオ（テレビの番組欄には通常「CC」としてマークされます）。</li> </ul> <p> -----</p> <p>画面のアスペクト比を 4:3 に設定します。アスペクト比が「16:9」または「自動」のとき、きの機能は使用できません。</p> <p>コンポジットビデオまたは S ビデオ入力信号が選択されており、このシステム形式が NTSC のときのみ、この機能が使用できます。</p> <p><b>キャプションバージョン</b> 優先するクローズドキャプションモードを選択します。字幕を表示するには、CC1、CC2、CC3 または CC4（CC1 はお住まいの地域の一次言語で字幕を表示します）を選択します。</p>

<p><b>セキュリティ</b></p> 	<p><b>セキュリティ</b></p> <p>このプロジェクトには、管理者がプロジェクトの使用を管理するために役に立つセキュリティ機能が用意されています。</p> <p>▶を押すと「セキュリティ」設定が変わります。セキュリティ機能が有効になっている場合、セキュリティ設定を変更する前に、まず「管理者パスワード」を入力する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「オン」を選択すると、セキュリティ機能が有効になります。「セキュリティモード」に応じてパスワードを入力する必要があります。詳細については、「ユーザーパスワード」セクションを参照してください。</li> <li>「オフ」が選択されている場合、パスワードなしにプロジェクトのスイッチをオンにできます。</li> </ul>
	<p><b>タイムアウト(分)</b></p> <p>「セキュリティ」が「オン」に設定されたら、タイムアウト機能を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◀▶を押してタイムアウト持続時間を選択します。</li> <li>範囲は 10 分から 990 分までです。</li> <li>設定時間が経過すると、パスワードの再入力が求められます。</li> <li>「タイムアウト(分)」の工場出荷時設定は「オフ」です。</li> <li>セキュリティ機能が有効になっているときに、プロジェクトの電源をオンにすると、パスワードの入力が求められます。「ユーザーパスワード」も「管理者パスワード」もこのダイアログを受け入れることができます。</li> </ul>
	<p><b>ユーザーパスワード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶を押して「ユーザーパスワード」をセットアップまたは変更します。</li> <li>リモコンの数値キーを使用してパスワードを設定し、「メニュー」ボタンを押します。</li> <li>数字を削除するには、◀を押します。</li> <li>「パスワードの確認」が表示されたら、パスワードを再入力します。</li> <li>パスワードは 4～8 の間の長さにする必要があります。</li> <li>「電源コードを差し込んだ後でのみパスワードを要求する」を選択すると、電源コードを差し込むたびにパスワードの入力が求められます。</li> <li>「プロジェクトがオンになっている間常にパスワードを要求する」を選択すると、プロジェクトの電源をオンにするたびにパスワードの入力が求められます。</li> </ul>

	<p><b>管理者パスワード</b> 「管理者パスワードの入力」または「パスワードの入力」ダイアログボックスが表示されているときに、「管理者パスワード」を入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ を押して「管理者パスワード」を変更します。</li> <li>「管理者パスワード」の工場出荷時デフォルトは「1234」です。 管理者パスワードを忘れた場合、次を実行して管理者パスワードを回復してください。</li> <li>プロジェクトに付属のセキュリティカードに印刷された6桁の「ユニバーサルパスワード」を入力します。この一意のパスワードは、管理者パスワードがどのように設定されているかに関わらず、プロジェクトに受け入れられます。</li> <li>セキュリティカードを失くした場合、最寄りの Acer サービスセンターにご連絡ください。</li> </ul>
<p><b>VGA 出力 (スタンバイ)</b></p>	<p>「オン」を選択して機能を有効にします。プロジェクトがスタンバイモードに入っていて、VGA 入力と VGA 出力ソケットがデバイスに正しく接続されているときに、VGA 信号が出力されません。</p>  <p>.....</p> <p>この機能を有効にすると、スタンバイ時の消費電力がわずかに増加します。</p>
<p><b>リセット</b></p>	<p>「はい」を選択した後に ▶ を押すと、すべてのメニューのパラメータが工場出荷時設定で表示されます。</p>

## 投射設定



<p><b>ECO モード</b></p>	<p>「オン」を選択するとプロジェクトのランプが暗くなり、消費電力も抑えられ、騒音が低くなり、ランプの寿命が延びます。「オフ」を選択すると通常モードに戻ります。</p>
-----------------------	--

高度	「オン」を選択して高度モードをオンにします。この機能がオンになっているとき、プロジェクタのファンは高速で連続作動して、プロジェクタの温度を下げます。
自動シャットダウン(分)	設定時間の後、信号入力が検出されないと、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
ランプ使用時間	ランプの経過した動作時間を表示します(単位:時)。
ランプ寿命警告	充電ランプメッセージが表示されているとき、この機能を選択して警告メッセージの表示/非表示を切り替えます。このメッセージが表示されたら、30 時間後に寿命が切れます。
ランプ使用時間リセット	「はい」を選択した後に  を押すと、ランプの時間カウンタは 0 時間に戻ります。

## オーディオ



音量	<ul style="list-style-type: none"> <li>◀ を押すと音量が下がります。</li> <li>▶ を押すと音量が上がります。</li> </ul>
ミュート	<ul style="list-style-type: none"> <li>「オン」を選択するとミュートがオンになります。</li> <li>「オフ」を選択するとミュートがオフになります。</li> </ul>
電源オン/オフ音量	この機能を選択すると、プロジェクタのオン/オフを切り換えるときの通知音量を調整できます。

## タイマー



タイマーの位置	画面のタイマーの位置を選択します。
タイマー開始（または、停止）	▶ を押してタイマーの開始 / 停止を切り換えます。
タイマー期間（分）	◀ ▶ を押してタイマー期間を調整します。
タイマー音量	この機能を選択すると、タイマー機能が有効になったりタイムアップするときの通知音量を調整できます。
タイマー画面	◀ ▶ を押してタイマーの画面モードを選択します。

## 言語



言語	<p>OSD メニューに対して言語を設定します。▲ ▼ を使用して、優先する言語を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ を押して選択を確認します。</li> </ul>
----	---

# 付録

## トラブルシューティング

Acer プロジェクタに問題が発生した場合、次のトラブルシューティングガイドを参照してください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの再販売業者またはサービスセンターにご連絡ください。

### 画像の問題とソリューション

#	問題	ソリューション
1	画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>「仕様の手引き」セクションで説明したように、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。</li> <li>コネクタピンが曲がったり折れたりしていないことを確認してください。</li> <li>プロジェクタランプがしっかり取り付けられていることをチェックしてください。「ランプを交換する」セクションを参照してください。</li> <li>レンズキャップが取り外され、プロジェクタの電源がオンになっていることを確認してください。</li> </ul>
2	画像が一部分しか表示されない、またはスクロールするまたは正しく表示されない (PC (Windows 95/98/2000/XP) の場合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンまたはコントロールパネルの「RESYNC(再同期)」を押します。</li> <li>画像が正しく表示されない場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「マイコンピュータ&gt;コントロールパネル」を順に開き、「画面」アイコンをダブルクリックします。</li> <li>「設定」タブを選択します。</li> <li>ディスプレイの解像度設定が WXGA+ (1440 x 900) より低いことを確認します。</li> <li>「詳細設定」ボタンをクリックします。</li> </ul> </li> </ul> <p>問題がそれでも解決しない場合、使用しているモニタディスプレイを変更し、以下のステップに従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解像度設定が WXGA+ (1440 x 900) より低いことを確認します。</li> <li>「モニタ」タブの下で、「変更」ボタンをクリックします。</li> <li>SP ボックスの下で「すべてのデバイスの表示 &gt; 標準のモニタタイプ」を選択し、「モデル」ボックスの下で必要とする解像度モードを選択します。</li> <li>モニタディスプレイの解像度設定が WXGA+ (1440 x 900) より低いことを確認します。</li> </ul>

3	<p>画像が一部分しか表示されない、またはスクロールするまたは正しく表示されない (ノートPCの場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• リモコンまたはコントロールパネルの「RESYNC(再同期)」を押します。</li> <li>• 画像が正しく表示されない場合。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• アイテム 2(上)の手順に従って、コンピュータの解像度を調整します。</li> <li>• 出力設定の切り換えを押します。例：[Fn]+[F4]、Compaq [Fn]+[F4]、Dell [Fn]+[F8]、Gateway [Fn]+[F4]、IBM [Fn]+[F7]、HP [Fn]+[F4]、NEC [Fn]+[F3]、Toshiba [Fn]+[F5]</li> </ul> </li> <li>• 解像度を変更するのが困難な場合、またはモニタがフリーズする場合、プロジェクタを含めすべての機器を再起動してください。</li> </ul>
4	<p>ノートPCの画面がプレゼンテーションを表示しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows ベースのノートPCを使用している場合。一部のノートPCは、2台目のディスプレイバイスを使用しているとき、独自の画面を非アクティブにすることがあります。それぞれ、再アクティブにするための別の方法があります。詳細については、コンピュータのマニュアルを参照してください。</li> <li>• Apple Mac OS ベースのノートPCを使用している場合。システム設定で、「画面」を開きビデオミラーリング「オン」を選択します。</li> </ul>
5	<p>画像が不安定またはちらつく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• これを補正するには「トラッキング」を使用します。詳細については、「イメージ設定」セクションを参照してください。</li> <li>• コンピュータでディスプレイの色深度設定を変更します。</li> </ul>
6	<p>画像に垂直のバーがちらついて表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「周波数」を使用して調整します。詳細については、「イメージ設定」セクションを参照してください。</li> <li>• プロジェクタに合うように、グラフィックスカードのディスプレイモードをチェックして再設定します。</li> </ul>
7	<p>画像がフォーカスから外れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レンズキャップを取り外していることを確認します。</li> <li>• プロジェクタレンズのフォーカシングを調整します。</li> <li>• 投射方式幕が X1130/X1230 プロジェクタから 1.2 ~ 8m、および X1230S プロジェクタから 0.7 ~ 4. m の必須距離の範囲に入っていることを確認してください。詳細については、「距離とズームを調整してお好みの画像を表示する方法」セクションを参照してください。</li> </ul>

8	「ワイドスクリーン」DVDタイトルを表示しているとき、画像が引き伸ばされる	<p>アナモルフィックまたは 16:9 縦横比でエンコードされた DVD を表示しているとき、次の設定を調整する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4:3 フォーマットの DVD タイトルを再生している場合、プロジェクタの OSD でフォーマットを 4:3 に変更してください。</li> <li>画像がそれでも伸びる場合、縦横比を調整する必要があります。ディスプレイフォーマットを DVD プレーヤーで 16:9(ワイド) 縦横比にセットアップします。</li> </ul>
9	画像が小さすぎる、または大きすぎる	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。</li> <li>プロジェクタをスクリーンに近づけるか、遠ざけます。</li> <li>コントロールパネルまたはリモコンの「メニュー」を押します。「イメージ&gt;アスペクト比」に移動し、別の設定を試みます。</li> </ul>
10	画像に斜めの線が入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央および底部の下にくるように配置し直します。</li> <li>イメージが四角になるまで、コントロールパネルまたはリモコンの歪み補正キーを押します。</li> <li>コントロールパネルまたはリモコンの「メニュー」を押して、OSD メニューを開きます。「イメージ&gt;自動歪み補正」または「イメージ&gt;手動歪み補正」に移動して、調整を行います。</li> </ul>
11	画像が反転する	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSD で「イメージ&gt;投影」を選択し、投影方向を調整します。</li> </ul>

## プロジェクタの問題

#	状態	ソリューション
1	プロジェクタがすべてのコントロールに対して応答しない	可能であれば、プロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いて 30 秒異常待ってから電源を接続し直します。
2	ランプが焼き切れる、またはポンという音を立てる	ランプが製品の耐用年数に達すると、焼け切れてポンという大きな音が出ます。その場合、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタはオンになりません。ランプの交換は、「ランプを交換する」セクションの手順に従ってください。

## OSD メッセージ

#	状態	注意を喚起するメッセージ
1	メッセージ	<p data-bbox="395 272 836 293">ファンエラー - システムファンが作動していません。</p> <div data-bbox="395 301 932 370" style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 5px;"> <p data-bbox="511 314 816 357">ファンが故障しています。 ランプは間もなく自動的にオフになります。</p> </div> <p data-bbox="395 384 928 523">プロジェクトが過熱しています - プロジェクトがその推奨される動作温度を超えたため、使用する前に冷却する必要があります。防塵フィルタが取り付けられているかどうかも確認してください。防塵フィルタが埃で詰まっている場合、それを取り除いてください。詳細については、「防塵フィルタの洗浄と交換」を参照してください。</p> <div data-bbox="395 528 932 596" style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 5px;"> <p data-bbox="511 541 816 584">プロジェクトが過熱しています。 ランプは間もなく自動的にオフになります。</p> </div> <p data-bbox="395 608 928 651">ランプを交換してください - ランプはその最大の耐用年数に達しようとしています。直ちに交換の準備をしてください。</p> <div data-bbox="395 659 932 727" style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 5px;"> <p data-bbox="452 671 875 715">ランプは全出力操作で耐用年数に終わりに近づいています。 交換をお勧めします *</p> </div>

# LED およびアラーム定義の一覧

## LED メッセージ

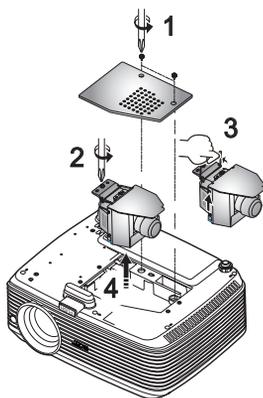
メッセージ	電源 LED		ランプ LED	Temp (温度) LED
	赤	青	赤	赤
スタンバイ (電源コードが差し込まれて います)	V	--	--	--
電源ボタンオン	--	V	--	--
ランプの再試行	--	点滅	--	--
オフにする (冷却状態)	点滅	--	--	--
オフにする (冷却が完了)	V	--	--	--
エラー (熱エラー)	--	V	--	V
エラー (ファンロックエラー)	--	V	--	点滅
エラー (ランプ破損)	--	V	V	--
エラー (カラーホイールエラー)	--	V	点滅	--

## ランプを交換する

ドライバーを使用してカバーからネジを取り外し、ランプを取り出します。プロジェクタはランプの寿命を検出します。警告メッセージ「ランプがその耐用年数に近づいています。交換をお勧めします。」このメッセージが表示されたら、至急ランプを交換してください。ランプを交換する前に、プロジェクタを少なくとも30分間冷却してください。



警告: ランプコンポーネントが熱くなっています。ランプを交換する前に冷却してください。



ランプを交換するには、次の手順に従います

- 1 電源  ボタンを押して、プロジェクタの電源をオフにします。
- 2 プロジェクタを少なくとも30分間冷却します。
- 3 電源コードを取り外します。
- 4 ドライバーを使用してカバーからネジを取り外し、ランプを取り出します。(図 #1)
- 5 カバーを押し上げてカバーを取り外します。
- 6 ランプモジュールを固定している2個のねじを取り外し(図 #2)、ランプバーを持ち上げます。(図 #3)
- 7 ランプモジュールを引き出します。(図 #4)

ランプモジュールを交換するには、前の手順の逆を行います。

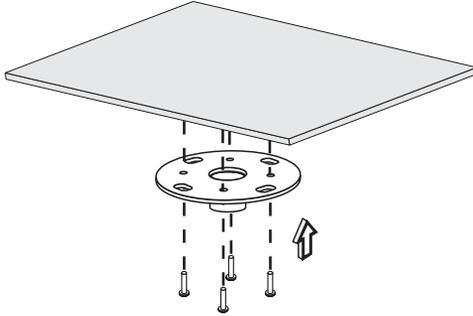


警告: 人が負傷する危険があるため、ランプモジュールを落としたりまたはランプの電球に触れないください。電球を落とすと粉々に割れて負傷の原因となります。

## 天井への取り付け

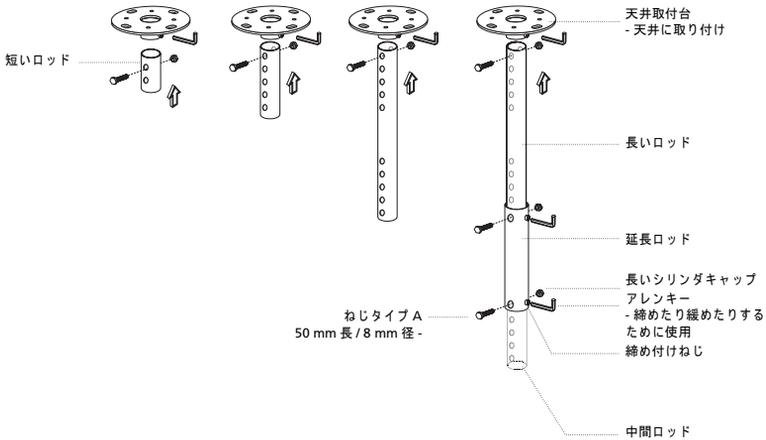
天井取付を使用してプロジェクトを取り付ける場合、以下のステップを参照してください。

- 1 天井のしっかりした構造の丈夫な部分に4つの穴を開け、マウントベースを取り付けます。

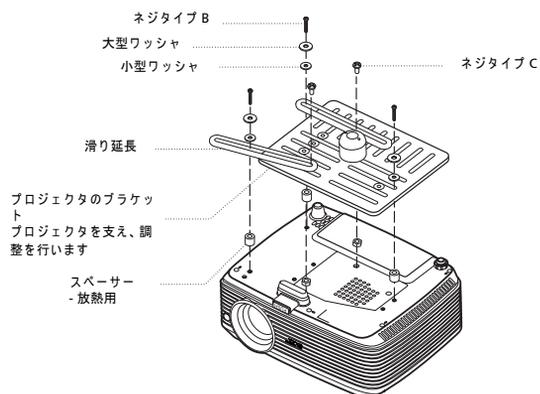


注：ネジは別売です。お使いの天井に合わせて、適切なネジをご用意ください。

- 2 適切なタイプのシリンダネジを使用して天井ロッドを固定します。

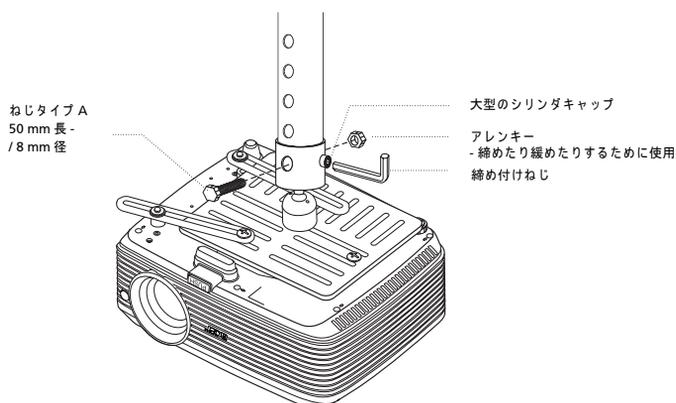


- 3 プロジェクタのサイズに合った適切な数のネジを使用して、プロジェクタをシーリング取付ブラケットに取り付けます。

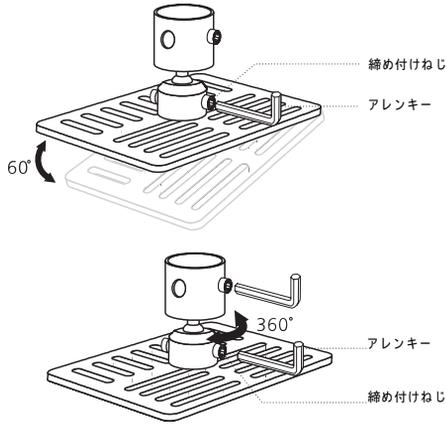


**注:** 熱が適切に分散されるように、ブラケットとプロジェクタの間に十分なスペースを開けるようにお勧めします。必要に応じて、2つのワッシャで補強してください。

- 4 シーリングブラケットをシーリングロッドに取り付けます。

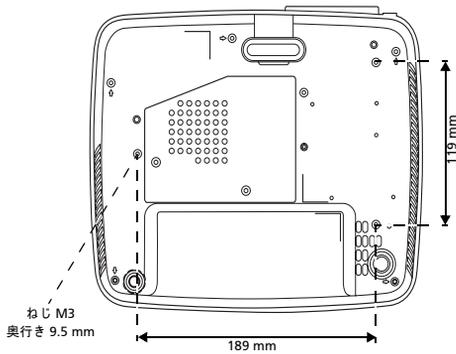


- 5 必要に応じて、角度と位置を調整します。



注：各モデルに合った適切なタイプのネジとワッシャは、以下の表に一覧表示されています。ネジパックには、3 mm 径のネジが含まれています。

モデル	ネジタイプ B		ワッシャタイプ	
	直径 (mm)	長さ (mm)	大	小
X1130/X1230/X1230S	3	25	V	V



## 仕様

以下に一覧表示する仕様は、予告なしに変更することがあります。最終仕様については、Acer が公表するマーケティング仕様を参照してください。

投影システム	DLP™
解像度	<ul style="list-style-type: none"> <li>X1130: ネイティブ: SVGA (800 x 600) 最大: SXGA (1280 x 1024), WXGA+ (1440 x 900)</li> <li>X1230/X1230S ネイティブ: XGA (1024 x 768), 最大 SXGA (1280 x 1024), WXGA+ (1440 x 900)</li> </ul>
コンピュータの互換性	IBM PC および互換品、Apple Macintosh、iMac および VESA 標準: WXGA+ (1440 x 900), WXGA (1280 x 800, 1280 x 768), SXGA (1280 x 1024), XGA (1024 x 768), SVGA (800 x 600), VGA (640 x 480)
ビデオ互換性	NTSC (3.58/4.43)、PAL (B/D/G/H/I/M/N)、SECAM (B/D/G/K/K1/L)、HDTV (720p、1080i)、EDTV (480p、576p)、SDTV (480i、576i)
縦横比	4:3 (ネイティブ)、16:9
表示可能な色数	16.7 万色
投射方式レンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>X1130/X1230: F = 2.56 - 2.8, f = 21.00 mm - 23.00 mm, 1:1.1 手動ズームと手動フォーカス</li> <li>X1230S: F=2.5、f = 10mm、手動ズームレンズ</li> </ul>
投影スクリーンサイズ (対角)	<ul style="list-style-type: none"> <li>X1130/X1230: 35" (0.89 m) - 159" (4.04 m)</li> <li>X1230S: 27" (69 cm) - 300" (762 cm)</li> </ul>
投影距離	<ul style="list-style-type: none"> <li>X1130/X1230: 3.9" (1.2 m) - 37.2" (11.3 m)</li> <li>X1230S: 1.6" (0.5 m) - 18.0" (5.5 m)</li> </ul>
投影比	<ul style="list-style-type: none"> <li>X1130/X1230: 53" @ 2 m (1.86 - 2.04: 1)</li> <li>X1230S: 109" @ 2 m (0.90 : 1)</li> </ul>
水平走査周波数	31 - 93 kHz
垂直リフレッシュ走査周波数:	48 - 86 Hz
ランプタイプ	フィリップス型 189 W のユーザーが自分で交換できる UHP
キーストーン補正	+/-40 度 (垂直)、手動および自動
デジタルズーム	2 X
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>X1130: N/A</li> <li>X1230/X1230S: 2 W x 1</li> </ul>

重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• X1130/X1230: 約 2.3 kg</li> <li>• X1230S: 約 2.5 kg(5.51 lbs.)</li> </ul>
寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	264 x 225 x 95 mm (10.4" x 8.6" x 3.7")
電源装置	ユニバーサル AC 入力 100 - 240 V、入力周波数 50 - 60 Hz
消費電力	280 W
操作温度	0°C to 40°C / 32°F to 104°F
I/O コネクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源ソケット x1</li> <li>• RS232 x 1</li> <li>• VGA 入力 x 1</li> <li>• コンポジットビデオ x1</li> <li>• S ビデオ x1</li> </ul> <p>以下のアイテムは X1230/X1230S 専用です :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3.5 mm ジャック入力 x1: 有線 IR リモコン用</li> <li>• VGA 出力 x1</li> <li>• 3.5 mm ジャック入力 x1: 有線 IR リモコン用</li> </ul>
標準パッケージの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AC 電源コード x1</li> <li>• VGA ケーブル x1</li> <li>• コンポジットビデオケーブル x1</li> <li>• リモコン x1</li> <li>• 電池 x 2 (リモコン用)</li> <li>• ユーザーズガイド (CD-ROM) x 1</li> <li>• クイックスタートガイド x 1</li> <li>• セキュリティカード x 1</li> <li>• キャリーケース x1</li> </ul>

\* 設計と仕様は、予告なしに変更することがあります。

## 互換モード

### 1 VGA アナログ - PC 信号

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
VGA_60	640 x 480	59.940	31.469
VGA_72		72.809	37.861
VGA_75		75.000	37.500
VGA_85		85.008	43.269
720 x 400_70	720 x 400	70.087	31.469
720 x 400_85	720 x 400	85.000	37.900
SVGA_56	800 x 600	56.000	35.200
SVGA_60		60.317	37.879
SVGA_72		72.188	48.077
SVGA_75		75.000	46.875
SVGA_85		85.061	53.674
XGA_60	1024 x 768	60.004	48.363
XGA_70		70.069	56.476
XGA_75		75.029	60.023
XGA_85		84.997	68.667
SXGA_70	1152 x 864	70.000	63.800
SXGA_75		75.000	67.500
SXGA_60	1280 x 1024	60.020	63.981
1280 x 960_60	1280 x 960	60.000	60.000
Mac G4	640 x 480@60Hz	59.94	31.469
MAC13	640 x 480@67Hz	66.667	35.000
Mac G4	800 x 600@60Hz	60.317	37.879
MAC16	832 x 624@75Hz	74.546	49.722
Mac G4	1024 x 768@60Hz	60.004	48.363

MAC19	1024 x 768@75Hz	75.020	60.241
MAC21	1152 x 870@75Hz	75.060	68.680
WXGA_60	1280 x 768	60.000	47.400
WXGA_75		74.890	60.290
WXGA_60	1280 x 720	59.94	45.000
WXGA_60	1280 x 800	59.81	49.702
WXGA+_60	1440 x 900	59.887	59.935
16:9 timing	1366 x 768	59.790	47.712
16:9 timing	1024 x 576	59.899	35.880
Acer AspireOne	1024 x 600	60.000	37.500

## 2 YPbPr 信号

モード	解像度	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]
480i	720 x 480 (1440 x 480)	59.94	15.73
480p	720 x 480	59.94	31.47
576i	720 x 576 (1440 x 576)	50.00	15.63
576p	720 x 576	50.00	31.25
720p	1280 x 720	60.00	45.00
720p	1280 x 720	50.00	37.50
1080i	1920 x 1080	60.00	33.75
1080i	1920 x 1080	50.00	28.13

## 3 ビデオ、Sビデオ信号

モード	垂直周波数 [Hz]	水平周波数 [KHz]	fsc (MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	60	4.43
SECAM	15.63	60	4.25 または 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	60	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

# 規制と安全に関する通知

## FCC 通知

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

## 通知：シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置に対する接続はすべて、FCC 規制に準拠するために、シールドされたケーブルを使用して行う必要があります。

## 通知：周辺機器

Class B 制限への準拠を認定された周辺機器（入力デバイス、端末、プリンタなど）のみが本機器に接続できます。認定されていない周辺機器で操作すると、ラジオやテレビの受信に障害がおよぶ可能性があります。

## 注意

FCC 準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

## 操作条件

本製品は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます：(1) 電波障害を起こさないこと、(2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

## 通知：カナダのユーザー

この Class B デジタル機器はカナダ ICES-003 に準拠しています。

## Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

### Canada — Low-power license-exempt radio communication devices (RSS-210)

- a 一般情報  
操作は次の2つの条件に規制されます：
  1. 電波障害を起こさないこと、
  2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。
- b 2.4 GHz 帯域での操作  
認可されたサービスへの電波障害を防ぐために、本デバイスは屋内で操作するように意図され、屋外での取り付けには使用許可が必要です。

### 欧州連合諸国に対する適合宣言

Acer はここに、このプロジェクトシリーズが指令 1999/5/EC の基本要件およびその他の関連条項に準拠していることを宣言します。(完全なドキュメントについては <http://global.acer.com/support/certificate.htm> にアクセスしてください)。

ロシアの規制認証への準拠



ME61

### 無線装置の規制通知



注：以下の規制情報は、ワイヤレス LAN と Bluetooth の両方またはそのいずれかを搭載したモデル用です。

### 全般

本製品は、ワイヤレス使用を承認された国または地域の無線周波数および安全基準に準拠しています。設定によっては、本製品には(ワイヤレス LAN と Bluetooth モジュールの両方またはそのいずれかなどの)ワイヤレス無線デバイスが含まれることもあれば含まれないこともあります。以下の情報は、かかるデバイスを搭載した製品用です。

## 欧州連合 (UE)

次の整合規格への準拠によって認証された R&TTE 指令 1999/5/EC:

- 条項 3.1(a) ヘルスと安全
  - EN60950-1:2001
  - EN50371:2002 (SAR、一般 FR 装置)
- 条項 3.1(b) EMC
  - EN301 489-1 V1.4.1 (一般的技術要件)
  - EN301 489-3 V1.4.1 (短距離装置用)
  - EN301 489-17 V1.2.1 (広域帯データおよび HIPETLAN 機器用)
- 条項 3.2 スペクトルの使用
  - EN300 220-1 V1.3.1 (短距離装置用、25~1000MHz、パート 1)
  - EN300 220-2 V2.1.1 (短距離装置用、25~1000MHz、パート 3)
  - EN300 440-2 V1.1.2 (短距離装置用、1G~20GMHz、パート 2)
  - EN300 328 V1.6.1 (2.4 GHz ISM 帯域で作動するデータ転送機器用)
  - EN301 893 V1.2.3 (5GHz 高性能 RLAN)

## 適用可能な国のリスト

2004年5月現在での欧州連合の加盟国は、ベルギー、デンマーク、ドイツ、ギリシャ、スペイン、フランス、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、スウェーデン、英国、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア共和国、スロベニア、キプロス、マルタです。欧州連合の国々だけでなく、ノルウェー、スイス、アイスランドおよびリヒテンシュタインでも使用は許可されています。欧州連合の国々だけでなく、ノルウェー、スイス、アイスランドおよびリヒテンシュタインでも使用は許可されています。本デバイスは使用する国の規制と制約に厳密に従って使用される必要があります。詳細については、使用する国の地方自治体にお問い合わせください。



**Acer America Corporation**  
 333 West San Carlos St., San Jose  
 CA 95110, U. S. A.  
 Tel: 254-298-4000  
 Fax: 254-298-4147  
 www.acer.com



## Federal Communications Commission Declaration of Conformity

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

The following local Manufacturer / Importer is responsible for this declaration:

Product:	DLP Projector
Model Number:	QSV0812/QNX0813/QNX0814
Machine Type:	X1130/X1230/X1230S series
Name of Responsible Party:	Acer America Corporation
Address of Responsible Party:	333 West San Carlos St. San Jose, CA 95110 U. S. A.
Contact Person:	Acer Representative
Phone No.:	254-298-4000
Fax No.:	254-298-4147



Acer Incorporated  
8F, 88, Sec. 1, Hsin Tai Wu Rd., Hsichih  
Taipei Hsien 221, Taiwan

## Declaration of Conformity

We,

**Acer Incorporated**

8F, 88, Sec. 1, Hsin Tai Wu Rd., Hsichih, Taipei Hsien 221, Taiwan

Contact Person: Mr. Easy Lai

Tel: 886-2-8691-3089 Fax: 886-2-8691-3120

E-mail: easy\_lai@acer.com.tw

Hereby declare that:

<b>Product:</b>	<b>DLP Projector</b>
<b>Trade Name:</b>	<b>Acer</b>
<b>Model Number:</b>	<b>QSV0812/QNX0813/QNX0814</b>
<b>Machine Type:</b>	<b>X1130/X1230/X1230S series</b>

Is compliant with the essential requirements and other relevant provisions of the following EC directives and that all the necessary steps have been taken and are in force to assure that production units of the same product will continue comply with the requirements.

**EMC Directive 2004/108/EC as attested by conformity with the following harmonized standards:**

- EN55022: 2006, AS/NZS CISPR22: 2006, Class B
- EN55024: 1998 + A1: 2001 + A2:2003
- EN61000-3-2: 2006, Class A
- EN61000-3-3: 1995 + A1: 2001+A2: 2005

**Low Voltage Directive 2006/95/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:**

- EN60950-1: 2001 + A11: 2004

**Council Decision 98/482/EC (CTR21) for pan- European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).**

**RoHS Directive 2002/95/EC on the Restriction of the Use of certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment**

**The standards listed below are applied to the product if built with WLAN module or wireless keyboard and mouse.**

**R&TTE Directive 1999/5/EC as attested by conformity with the following harmonized standard:**

- **Article 3.1(a) Health and Safety**
  - EN60950-1:2001 + A11:2004
  - EN50371:2002
- **Article 3.1(b) EMC**
  - EN301 489-1 V1.6.1
  - EN301 489-17 V1.2.1
- **Article 3.2 Spectrum Usages**
  - EN300 328 V1.7.1
  - EN301 893 V1.4.1 (Applicable to 5GHz high performance RLAN).

**Year to begin affixing CE marking 2008.**

*Easy Lai*

Easy Lai /Manager

Regulation Center, Acer Inc.